

10月の学院福音化、1 — 2) マタイの福音書^{ふくいんしょ} 13章^{しょう} 1～58節^{せつ}

マタイ^{しょう} 13章^{てんごく}には天国^{ぼなし}のたとえ話^かのみことばが7つ書いてあります。

- 1) 種^{たね}を蒔^まく者^{もの}のたとえ話^{ぼなし} (3～9、18～23)
- 2) 麦^{むぎ}と毒麦^{どくむぎ}のたとえ話^{ぼなし} (24～30、37～43)
- 3) からし種^{だね}のたとえ話^{ぼなし} (31～32)
- 4) パン種^{だね}のたとえ話^{ぼなし} (33)
- 5) 隠^{かく}された宝^{たから}のたとえ話^{ぼなし} (44)
- 6) 高価^{こうか}な真珠^{しんじゆ}のたとえ話^{ぼなし} (45～46)
- 7) 網^{あみ}のたとえ話^{ぼなし} (47～50)

これらは、天^{てん}の御国^{みくに}、神^{かみ}の国^{くに}がどのように与^{あた}えられるのかについてです。つまり救^{すく}いに^{かん}関するみことばです。

マタイ^{しょう} 13章^{ないよう}の内容^{かんたん}を簡単^{てん}にまとめると、天^{てん}の御国^{みくに}（救^{すく}い）は何^{なん}の値^{あた}もなく、ただ恵^{めぐ}みによって与^{あた}えられるものであり、すべての人^{ひと}に与^{あた}えられるのですが、みんながすべて神^{かみ}の^{くに}国^はに入るわけではないことを記録^{きろく}しているのです。

聖書^{せいしょ}はアダム以後^{いご}のすべての人間^{にんげん}の状^{じょう}態^{たい}がどのようなものかについて明^{あき}らかにしています。

ローマ^{しょう} 3章^{せつ} 10～18節

10 次^{つぎ}のように書^かいてあるとおりです。「義人^{ぎじん}はいない。一人^{ひとり}もいない。

11 悟^{さと}る者^{もの}はいない。神^{かみ}を求^{もと}める者^{もの}はいない。

12 すべての者^{もの}が離^{はな}れて行き、だれもかれも無用^{むよう}の者^{もの}となった。善^{ぜん}を行^{おこな}う者^{もの}はいない。
だれ一人^{ひとり}いない。」

13 「彼^{かれ}らの喉^{のど}は開^{ひら}いた墓^{はか}。彼^{かれ}らはその舌^{した}で欺^{あざむ}く。」「彼^{かれ}らの唇^{くちびる}の下^{した}にはまむしの毒^{どく}がある。」

14 「彼^{かれ}らの口^{くち}は、呪^{のろ}いと苦^{にが}みに満^みちている。」

15 「彼^{かれ}らの足^{あし}は血^ちを流^{なが}すのに速^{はや}く、

16 彼^{かれ}らの道^{みち}には破壊^{はかい}と悲惨^{ひさん}がある。

17 彼^{かれ}らは平和^{へいわ}の道^{みち}を知ら^しない。」

18 「彼^{かれ}らの目^めの前^{まえ}には、神^{かみ}に対^{たい}する恐^{おそ}れがない。」

つみ した 罪の下にいるすべての人間は、とうてい実を結ぶことができない道端、岩地、茨の中
の じょうたい 状態だということです。そのような人間に「石を取り除き、とげを取り除いて、穀物
が そだ おお 育って多くの実を結ぶ良い地を作りなさい」、「からし だね 種やパン だね 種のような人生を生きな
さい」、「神の国と福音宣 教のためにすべてをオールインしなさい」などという ねっしん 熱心と
けんしん 献身を求めるみことばではなく、神様がいのちの種を うえ 植え、石を取り除き、茨を取り除
き、実を 結ぶ 実を結ぶ良い地を作り出してくさるということです。

エゼキエル書 36章26節

あなたがたに あた 新 しい 心 を 与 え、あなたがたのうちに あた 新 しい 霊 を 与 える。わたしはあな
たがたのからだから 石 の 心 を 取 り 除 き、あなたがたに にく 肉 の 心 を 与 える。

わたし 私 たちの 心 に 植 え て く だ さ っ た い の ち の 種 は 何 で し ょ う か。それは、イエス・キリス
トです。

ローマ 3章23～24節

23 すべての人は 罪 を 犯 し て、神の栄光を 受 け る こ と が で き ず、

24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる 贖 い を 通 し て、 価 な し に 義 と 認 め ら れ る
からです。

ローマ 5章8節

しかし、私 たちがまだ 罪 人 で あ っ た と き、キリストが 私 たちのために 死 な れ た こ と に よ
っ て、神は 私 たち に対 する ご 自 分 の 愛 を 明 ら か に し て お ら れ ま す。

このように、ひとり子をお 惜 し み な く この 地 に 送 っ て く だ さ っ た 父 なる 神 様 の 愛 と、イエ
ス・キリストが十字架で 贖 い の 代 価 と し て ご 自 分 の い の ち を 与 え て く だ さ っ た こ と に よ
っ て 価 な し に 恵 み で 救 わ れ た 神 の 子 ども たち に 天 の 御 国 が 与 え ら れ る の で す が、そのこ
とをたとえ 話 で 語 ら れ た の が マタイ13章 の 内 容 で す。なぜ、たとえ 話 で 語 ら れ た の か
に つ い て の 説 明 も 本 文 の 中 に 記 録 さ れ て い ま す。

マタイ 13章11節

イエスは 答 え ら れ た。「あなたがた（弟子たち）には 天 の 御 国 の 奥 義 を 知 る こ と が 許 さ れ
て い ま す が、あ の 人 たち（群 衆）には 許 さ れ て い ま せ ん。

聞 かな け れ ば な ら な い 者 たち だ け が 聞 い て、他 の 者 たち は 悟 ら な い よ う に、たとえ 話
で 語 ら れ た の で す。

マタイ 13章 35節

それは、預言者を通して語られたことが、成就するためであった。「私は口を開いて、たとえ話を、世界の基が据えられたときから隠されていることを語ろう。」

隠されていることを明らかに聞くことができる恵みがありますように、お祈りします。